

2004年春のシンポジウム

木質・21世紀の材料生物学

主催:日本木材学会組織と材質研究会,共催:日本木材学会レオロジー研究会

場所:名古屋大学シンポジオン1階ホール(250名)

(地下鉄名城線「名古屋大学」下車、徒歩5分、豊田講堂向かって右奥)

日時:2004年4月24(土)ー25日(日)

なお、4月24日18:00から懇親会を予定しております。

プログラム

4月24日(土)

13:00-13:05 開会の趣旨説明

13:05-15:20 **生化学研究者が想像する木質の機能・物性**

オーガナイザ:福島和彦(名古屋大学生命農学研究科)

(1) 杉山淳司(京都大学木質科学研究所)

セルロース:構造からみる、生合成・分解および機能

(2) 梶田真也(東京農工大学)

リグニン構造の可塑性がもたらす機能・物性の高度化

(3) 梅澤俊明(京都大学木質科学研究所)

心材抽出成分の生合成

15:30-17:45 **顕微鏡・生物学研究者が想像する木質の機能・物性**

オーガナイザ:高部圭司(京都大学農学研究科)

(1) 藤田 稔(京都大学農学研究科)

材料解析における光学顕微鏡の役割

(2) 伊東隆夫(京都大学木質科学研究所)

フリーズエッチング法で見た細胞壁のミクロな構造

(3) 中田了五(独立行政法人林木育種センター東北育種場)

マイクロフィブリル傾角が遺伝するとはどういうことなのか?

18:00 から懇親会(名大内、グリーサロン東山)

4月25日(日)

9:00-11:15 **資源利用化学研究者が想像する木質の形成と構造**

オーガナイザ: 近藤哲男(九州大学農学研究院)

(1) 小名俊博(九州大学農学研究院)

紙のリサイクル性の向上に好ましい木質の形成と構造

(2) 光永 徹(三重大学生物資源学部)

樹木の生理機能から学ぶ木質資源の成分利用化学

(3) 則元 京(京都大学木質科学研究所)

化学加工木材の構造と物性

11:30-12:10 **材質・物性研究者が想像する木質の形成と構造**

オーガナイザ: 山本浩之(名古屋大学生命農学研究科)

(1) 棚橋光彦(岐阜大学農学部)

木材の物理加工からみる木質の形成と構造

12:10-13:30 食事休憩

13:30-15:05 つづき

(2) 山下香菜(独立行政法人森林総合研究所木材特性研究領域)

林木材質評価における現状と将来の夢

(3) 中井毅尚(島根大学総合理工学部)

細胞壁物性から木質の形成と構造を垣間見る

15:15-16:15 **総合討論・まとめ**

コーディネーター: 藤井智之(独立行政法人森林総合研究所)

船田 良(東京農工大学農学部)

矢野浩之(京都大学木質科学研究所)

参加費: 一般 1500 円、学生 500 円(当日)

懇親会: 一般 4000 円、学生 2000 円(当日)

定員: 250 名

申し込み先: 氏名、所属、懇親会参加の有無をご明記の上、電子メールまたはファックスで下記までお申し込み下さい。

名古屋大学生命農学研究科 山本浩之

E-mail: hiro@agr.nagoya-u.ac.jp

Tel: 052-789-4152 Fax: 052-789-4150

申し込み締切: 4月16日(金)(定員に達し次第締め切ります)